

一般財団法人住環境財団 御中

一般社団法人大樹自然機構
代表理事 阪井清正

助成金報告書

—「ニッポニア・メム」に関する助成事業について—

1、申請者

〒089-2113

北海道広尾郡字大樹町 656-3

一般社団法人大樹自然機構 代表理事阪井清正

2、テーマの名称

大樹町周辺地域への観光導線に有益となる「ニッポニア・メム」の開発

3、開催期間

R3.5.15～R3.10.31

4、開催場所

北海道広尾郡大樹町字芽武 158-1 メムアースホテル敷地内

及び

北海道十勝管内地域

5、開催目的・意義

本プロジェクトでの目的は、メムアースホテルの敷地内で、「ニッポニア・メム」（ニッポニア、以前政府が進めた観光政策理念から由来）としての理念に基づき、地域に長く引き継がれてきた「ホントのコト」を事業資源に環境を整備することで、地域にペルソナや役割を深度化させ、彼らのリソースを活かした地方経営モデルを確立し、地域の人々の生業、地域経営がサステイナブルに続く事にある。

そして、メムアースホテルの敷地を活用し、EV およびデジタル環境を整備することで観光の活性化を図りたいと考えている。

近隣ではインターステラというロケット開発が行われている会社が誕生し、地域一体となった未来型の観光誘致がすこしずつ進んできている。

当財団としては、「ニッポニア・メム」という新たな理念に基づくホテル外関係者とタッグを組み、環境に配慮した移動に対する考え方およびその港を創ることで、ローカルな場所ながら近未来を感じることができる新たな活動拠点にメムアースホテルになることを望んでいる。

あわせて、この場所に観光客のほか、地域住民や研究者が集いあらたな社会的な活動が生まれる場所になっていけるよう順次開発エリアを拡大して進めていく。

6、結果報告

【物品購入完了】

eBike の購入 (1,000,000 円)

eBike 充電ステーションの開設 (1,000,000 円)

EV 自動車の購入 (7,000,000 円)

EV カートの購入 (4,000,000 円)

【物品購入発注完了・光ネット回線開通後に納品稼働 (予定 2023 年 5 月)】

EV 自動車充電ステーションの開設 (2,000,000 円)

自動販売機の購入 (1,000,000 円)

インターネット及び施設内通信環境整備 (2,000,000 円)

【デザイン対応中】

アースホテル駐車場整備費用 (2,000,000 円)

コロナ環境下での行動及び製造・流通制限事由により、一部物品調達に時間を要している。本助成に伴い上記の環境整備を整えたことにより、当初目標であった3つの観光動線作成モニターツアー造成のうち2つを催行できる結果となり、メムアースホテルの施設・設備を活用した地域観光導線についての考えを事実化することが出来、今後の目指していく活動に明快な課題・目標を創出できた。残り1つは日程変更にてコロナ感染症拡大予防も見据えた上で22年度6月を仮日程とした催行へと日程変更。

■第1回目 ebike を使ったモニタツアー行程 (走行距離 40 キロ)

①メムアースホテル

自転車を持ってスタート。今回はホテルの E-bike を 2 台レンタルして使用、充電設備見学。サポートカーで EV 車を使用。移動手段の環境テストを兼ねる

②浜大樹漁港

大樹町のシンボルの1つである港、「浜大樹漁港」公衆トイレもある休憩スポット

③大樹町宇宙交流センターSORA

多目的航空公園を併設している町のシンボル。記念写真の撮影スポットもあり

④十勝ホロカヤントー堅穴群

起伏道を堪能しながら、到着後晩成温泉にてここしかない泉質を楽しみ、十勝開拓の始まりのイメージや、古代堅穴住居のレプリカから十勝を感じる

⑤生花苗沼

穏やかで遠くまで見渡すことのできる生花苗沼でサポート EV カーにてコーヒーブレイク。その後、晩成牧場へのヒルクライムを行い、ナウマン国道(336号線)にてメムアースへ

■第1回目モニターツアー参加者

滝田武志（鹿追町、マッシングワークス／犬ぞり事業者）

梅村智秀（本別町、旅くま北海道／インバウンドツアー事業者） 阿部俊夫（清水町、Tokachi Bicycle Project）

林繁晴（帯広市、Tokachi Bicycle Project）

古井健太郎（帯広市、Tokachi Bicycle Project）

渡邊一基（幕別町、旅行事業者）

【モニターツアー参加者アンケート】

問1) 今回のコースですが、距離、起伏についてどう感じましたか？

【距離】・短い・普通（良い）8 ・長い

【起伏】・少ない・普通（良い）8 ・多い

○海・森林・草原などバラエティに富んだコースだと思いました。

OE バイクだったので、初心者でも問題無く参加できた。

○海へと続く直線、オイカマナイトー沿いの道路がとても気持ち良い。

○初心者の方でも走れる距離であると思う。

問2) 立ち寄り場所についてどう感じましたか？

【箇所数】・少ない・普通（良い）8 ・多い・その他

○晩成温泉へ向かう高台の景色が良く、最高でした。休憩の珈琲美味しかったです。

010km 程度でちょうど良い。

○トイレが心配でした。

○漁港で魚の水揚げとか見たかった。

○緊急事態宣言が明ければちょうど良いと思います。

問3) サイクリングの走行環境についてどう感じましたか？

【安全性】・危険を感じ場所がある 1 ・危険と感ずる場所はない 6

○大型トラックが追い越していく時には、ドキッとす。

○道路のデコボコはどうしようもない。

○よそ見をしている時のグレーチングの段差。

○車の往来も少なく、気持ちの良い環境。

○交差点やグレーチングも多くはないので安全性も良い。

問4)南十勝のサイクリングについて

【印象】・良く走りに来る1 ・あまり走りに来ることはない4・初めて走った3

【走ったことのある地域】・大樹町4 ・中札内村5 ・幕別町(忠類)4 ・広尾町1

- 十勝の中でも海岸線を走れるコースで良いと思います。
- 平坦な道が多く走りやすい。休憩スポットも多い。
- 今回はレンタサイクルがあり、ガイドがいたので安心して参加できた。
- 最高のトカプチ400のサブルートでした。
- 今回走ったことのないノレートだったが、魅力的なスポットも十分あったと思う。

問5)サイクリング全般について、レンタサイクル使用の場合は使用感など

- サポートカーが追従してくれるのはとても安心感があった。しかもEVは訴求力あり。
 - 適度にアップダウンがあり、とても風景が素晴らしいと思います。
 - 参加者の体力によってはもう少し休憩スポットがあっても良かったかもしれないと思った。年齢層に応じてコースを複数考えてもいいような気がしました。
 - 初めてのノレートだと1人では不安。今回のようにサポートカーやガイドがいる安心感が必要。レンタサイクルは見た目もカッコよく、電動で安心でした。
 - 「海が見える」というだけで強い魅力がある南十勝はとても良いルートが多く作れると思います。
- OE-bikeで走るとちょうど良いコースと距離感だと思う。大樹町の未来と本取組がとてもマッチしていると感じた。

問6)メムアースホテルをご存じでしたか？

【認知】・知っている5・名前を聞いたことがある1・知らなかった2

- 大樹町にこんな場所があるとは思いませんでした。
- 「知る人ぞ知る」というイメージ。
- やはり知らない方が多いと思うので、本ツアーを熟成させ、メムアースホテルの施策「ニッポニア・メム」の有効な広報活動につなげたい。

■第2回目 ebike を使ったモニタツアー行程（走行距離 288 キロ）

①新千歳空港

飛行機輸送+eBike レンタルについて検証しました。本ツアーを通じてメモアースホテルで行っているパドックパラダイスに通じる仮説テーマを立て、また北海道での EV サポートがどのくらい現実的かを知る事も2回目の趣旨となります。

②ノーザンホースパーク

馬の餌やり体験、観光馬車の乗車体験

③サイクリング1

日高地方編と大樹方面への導線検証

④遊馬らんどグラスホッパー

8名の体験トレッキング

⑤メモアースホテル

各移動体の設備説明、充電環境体験、EV 体験乗車を行い、観光施設から見る未来と地域の関わりについて意見交換。本来であれば引退馬のお世話も予定しておりましたが、体調不良の馬がいることもあり中止。

⑥帯広空港

充電中継地点としての活用方法の様子をモニター。

⑦サイクリング2

十勝地方編として、幕別町忠類／シーニックカフェちゅうるい（忠類共栄牧場内）と、帯広市／カラマツ防風林（帯広農業高校）で eBike 走行のテスト。

⑧とかちむら、帯広競馬場

とかち馬文化を支える会様のご協力により、馬の資料館でのレクチャー。

■第2回目モニターツアー協力

株式会社フォトフィールド／

Fieldesign／

株式会社ノーザンホースパーク／

株式会社ノマドック／

農業生産法人日高馬一ちゃんだいず株式会社／

帯広市経済部観光交流室観光交流課／

十勝農業協同組合連合会／

とかち馬文化を支える会／S

PC とかちむら株式会社（順不同）

■第2回目モニターツアー参加者

神楽坂つむり（大阪在住、自転車ブロガー、ツイッターフォロワー数 25,269 人）

マラソンサニー（神戸在住、フルマラソン 2 時間 40 分を切るプリキアランナー）

佐藤洋介（札幌在住、自転車歴の長いサイクリスト）

篠原奈都子（札幌在住、道内外のサイクリングイベントに参加しているロード女子）

黒子奈美江（札幌在住、ロードと小径車で普段はゆるポタライドをしている女子）

■第2回モニターツアー参加者アンケート

問1)今回のコースですが、距離、起伏についてどう感じましたか？

【距離】・短い1・普通（良い）2・長い

【起伏】・少ない・普通（良い）3・多い

問2)立ち寄り場所についてどう感じましたか？

【箇所数】・少ない・普通（良い）2・多い・その他

○初めての体験が多かったので楽しかった。

0ーヵ所ごとの魅力がありすぎて、滞在時間が足りなくなりそう。地方ごとに1~2日のボリュームが欲しい。

問3)サイクリングの走行環境についてどう感じましたか？

【安全性】・危険を感じ場所がある1・危険と感ずる場所はない2

○裏道が多いので速い自動車に注意。

○道外の人からすると路面のギャップが怖い

○EV車の帯同は荷物を預かれるので移動が楽、地域の空気を楽しめる

問4)南十勝のサイクリングについて

【印象】・良く走りに来る・あまり走りに来ることはない1・初めて走った2

【走ったことのある地域】・幕別町1

○道外のサイクリストは富良野方面に行きがちだけど、他を知らないだけだと思う。十勝のビジュアル、アクセスの良さが伝われば来訪するかも。

問5)サイクリング全般について、レンタサイクル使用の場合は使用感など

○経験者には距離は気にならないかと思いますが、初心者には身構えるかもしれないので、そのあたりのフォローができると良いと思います。やはりeBikeはお勧めしたい

○なんだかんだアップダウンが多いので、E-BIKEが理想。路面のギャップも素人からするとかなり怖い。35C以上のタイヤが好ましい。休憩スポットが20km毎に1ヵ所は最低欲

しい。トイレの場所も重要。

問6)メムアースホテルをご存じでしたか？

【認知】・知っている1 ・名前を聞いたことがある・知らなかった2

- 一度泊まってみたいホテルでした。自転車で来ることができるとは思わなかったです。
- 他に類を見ない。全国走ってきたけど、プレミアム感は格別。
- 地方なのに未来を見据えた電化設備を行なっている点は素晴らしい

問7)宿泊した施設についてどう感じましたか？

【印象】・快適と感じた3・改善点を感じた

【場所】・良い環境3・普通(良い)・不便な環境

- 自転車を中に持ち込め、充電もできる貴重なホテルだと思います。
- サイクリストにアピールするともっと利用客が増えると思う。洗濯機が使えるとサイクリングツアーの中盤等にとっても助かります。
- コンセプトも良いし、アメニティや寝具も申し分ない。

問8)朝食はいかがでしたか？

【雰囲気】・満足3.良かった・物足りなかった

- 温かいコーヒー等あるともっと良かったかも。でもとても美味しかったです。
- ボリュームがちょうど良い。デザートがあれば満足度もりもり！

問9)馬との触れ合いについて

【印象】・とても良い取り組み2 ・珍しい取り組み・もっと関わりたい1

- サイクリングと馬？どんな風景になるのか想像もつかなかったけど楽しかったです。これはツアーでなければ体験できない取り組みですね。
- ただの観光で終わらないことで、馬との関わり方や魅力を考えさせられる。

【本事業最終考察・商業ベースの実現化に向けて】

モニターツアーでは、MEMアースホテルが地域に向けて試行を行う「ニッポニア・MEM」の表現方法と地域をめぐる際の行程導線及び立ち寄る候補としての施設、ルート、環境を考えた伴走車提案等を本番に向けて検証すべく行いました。

サイクリングに関しては、個々の走力や天候にも左右される部分が多いため、余裕を持った行程を考えるのと同時に、アテンドスタッフによる車両同行が望ましく、可能であれば今回同様に、車両でのサポートが必要になると考えます。

今回MEMアースホテルを中心に訪れた各施設は、本施策を大変好意的に捉えていただいたため、「ニッポニア・MEM」の実現に向けた検証が良い形で行えたと考えております。

今後、本取り組みで協力を頂いた施設に加えた協力施設を追加し、検証する事が確実な誘客動線の創出に繋がると考えております。

モニターツアー時の各参加者・スタッフによる SNS での発信などのリプライなどを見ると、道内（主に札幌市内近郊）からの日帰りツアーの希望や、自走参加したいなどの声もたくさん寄せられた為、本施策を通じた道内観光客の誘客促進に繋がる確証を得る結果となり、また北海道での eBike 使用については行政サイドも注視をいただき、今後の本取り組みを継続する際の行政協力体制の入口を開ける事ができました。

本施策では、必然的に添乗（ガイド、サポートカードライバー、サポートスタッフ等）が必要となります。その手配費や人件費も含めた高価な設定にする事により、より質の高い誘客と内容にて進めていける事を協力会社及び参加者からのヒアリング結果より得ており、一般ツアーや個人旅行では体験できない内容を全面に押し出すことで、本施策を軸とした道内外への誘客促進企画を成功に導けるものと確信しました。

また、本施策は参加した人が楽しむことだけではなく、環境への配慮活動への認知、地域見学の際のルールやマナー啓蒙もMEMアースホテル主導にて推進できることから、「ニッポニア・MEM」を通じたMEMアースホテルの理念浸透を地域を通じて顧客に行えるよう更に改善を繰り返し、本取り組みの恒常的な実現化に進めていきたいと考えています。